



「よみがえりの地 熊野」独自の スポーツ合宿向け観光コンテンツ造成事業

熊野の自然・歴史資源を活用し、スポーツ合宿の滞在期間延長と地域経済への波及、スポーツ人材の育成



スポーツ合宿

一般社団法人南紀ウェルネスツーリズム協議会
合宿受入・商品販売



エコツーリズム

NPO法人つれもてネット南紀熊野
コンテンツ造成・人材育成

ターゲット層



- 都市圏のサッカースクール・チーム (小学生)
- 自己判断力・野外学習効果を求める 先進的指導者
- 中高生のスポーツ団体
- 新チームのチームビルディングや 専門外スポーツでの成長機会を求める 団体

造成コンテンツ(主要3本柱)

1

トレイルランニングを通じた自然体験

古道再生×心身鍛錬
自分の手で作った道 را 走り、
歴史・自然の関わりを学ぶ



2

自然体験を通じたチームビルディング
森林空間×プロジェクトアドベンチャー
非日常で結束力・リーダーシップを育成



3

森林・林業体験を通じた社会教育
熊野の森×持続的思考
森林の価値を再考し、
社会貢献できるスポーツ人材を育成



解決したい課題

観光の課題

未利用観光資源(熊野古道奥辺路)の活用
人材・コンテンツ開発・販路開拓



スポーツの課題

競技場稼働率に依存しない、
新たな収益源となる滞在型コンテンツ不足を解消



森林の課題

木材生産以外の森林経営モデル
(森林サービス産業)の確立。



地域資源を活かす工夫



既存スポーツ資源

南紀ウェルネスツーリズムの
合宿受入実績
13,000泊/年間+αを提供



熊野古道

歴史と精神性を活かした
心・技・体の成長を促す



森林・林業

「紀州材」等の歴史を通じて
持続可能な社会性・人間性を育む

定量的目標(抜粋)

- スポーツ合宿向けコンテンツ3件造成
- モニーツアー参加者の80%以上が自然体験・トレイルランニングへの興味関心向上
- SNSリーチ数30,000以上
- インタープリター5名(現2名)養成

定性的目標(抜粋)

- 2団体協業による受け入れ態勢構築とPDCA体制の確立
- 地域経済: 宿泊業、自然体験ガイド等への需要増、関係人口創出
 - 全国展開: 本事業の検証結果・効果を全国の山村地域へ展開可能
 - 持続性: コンテンツ販売体制の継続、コンテンツ拡充・人材育成・連携強化